

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

色水遊び～家庭生活との繋がり～／福島市立岡山幼稚園（福島県）

色水遊びは多くの園で見られる遊びですが、どの様に園独自の工夫をしていますか？

今回は、園庭でもっと楽しく遊びたいという子どもの思いを受けとめ、環境の工夫をしている園の事例をご紹介します。

また、5歳児が、家庭生活との繋がりから、「色水と泡」を作って色水遊びを楽しむ過程に、「科学する心」が育まれる体験を捉えることができます。



● 変化を楽しみながら／5歳児

福島市の保育所や幼稚園等では、原発事故直後は屋外活動や栽培活動が制限されていましたが、保護者や地域の方々の協力を得て、子どもの体験活動の機会や場が少しずつ広がってきました。

✦ 色水遊びがしたい／6月下旬

外遊びを楽しんでいた子どもから、「色水遊びがしたい！」と話が出た。

Aちゃん、Bちゃん、Cちゃんなどで誘い合って色水遊びを始める。

最初は、ペットボトルに枯れた花を摘み入れて、色水を作っていた。

Aちゃんは、「色、なかなか出ないね」と、上手く色が出ないことを友達と話している。

保育者は、子どもたちが気付くような場所に、すり鉢やおろし金などを準備する。

Aちゃんがすり鉢やおろし金に気付き使い始めると、他の友達も真似をして遊び始める。

子どもたちは、色水の色の違いを見せ合いながら楽しんでいた。



すり鉢やおろし金を使って濃い色水を作ろうとする子どもたち

✦ 本物みたいなクリームソーダを作りたい／7月上旬

● 本物みたいなクリームソーダ作り

Dちゃんは登園すると、「（家で）昨日飲んだ、クリームソーダを作りたい」と話し始めた。

クリームを作るために石鹸を使うことは、昨年経験しているので分かっていた。しかし、水に沈まないクリームを作るにはどうしたらよいのか、と悩んでいる様子である。

Dちゃんは、手を擦り合わせて泡を作ってみたが、なかなか上手に泡が作れない。

そこで、保育者は「これあるけど、使う？」とネットとスポンジを提示した。

Dちゃんは、それでもなかなか固い泡ができずに、試行錯誤をしていた。

保育者は、「先生、魔法かけてみるね！」と言い、ネットを使って泡を作って見せた。



固い泡を作ろうと工夫している様子

「うわーすごい！」と歓声をあげた子どもたちは、擦れば擦るほど固い泡に気付き固い泡になっていくことに気付き、みんなで試し始めた。

Dちゃんは遊びが終わると、「色水取っておいてもいい？」と、保育者のところへ相談にきた。

子どもたちが明日も続きができるように、保育者は色水を取っておくことにした。

● 一日置いた色水が変化する

翌日、Dちゃんは登園すると、昨日作った色水が青から茶色になっていることに気付いて、「昨日は青だったのに、茶色になっている」と、残念そうに話す。

「また今日も作ろうね！泡いっぱいメロンソーダを作ろう！」と、昨日経験した方法で固い泡を作り、色水の上に載せて遊んでいた。

Dちゃんがペットボトルに色水を入れ、そこに固い泡を入れて降った瞬間、「先生、色が変わった！」と叫んだ。

赤紫の色水が石鹼に反応して、薄い水色に変化した。「本物のメロンソーダできたよ！」と、偶然できた本物そっくりのジュースに喜んでいた。

他の子どもたちも、「私も、やってみる！」と、みんなで色の変化を楽しんでいた。

その後、泡の固さや入れる量によって色が変わることに気付き、何度も試していた。



色水の色の变化を楽しんでいる子どもたち

● 変化を楽しみながらレストランごっこを始める

Bちゃんが、昨日石鹼を入れて取っておいた色水が変色していないことに気付く。「先生！色水と同じだよ！」と、茶色に変色しなかったことを不思議に思っている。

保育者は「同じ？」と共有する言葉をかける。

いろいろな色水ができたことで、子どもたちから「美味しそう！」「飲んでみたい」と話がでて、レストランごっこを始める。

友達の注文を聞いて、色の変化を楽しみながら遊んでいた。



レストランごっこ

✦ 考察

- 自分がイメージしたもの（クリームソーダ）を作りたいと工夫したり試したりしながら、色の変化に驚く様子が見られた。その変化の過程を友達と共有し楽しむことで、「科学する心」が生まれ、遊びの満足感や達成感を味わうことができた。
- 何度も繰り返し取り組む中で、色の変化を見て、「試してみたい！」「やってみたい」という思いが強くなり、石鹼で作る泡の固さを工夫したり、花の量を調整したりしながら変化を楽しみ、「心を動かす楽しいレストランごっこ」になった。
- 保育者は、子どもたちの思いを受け止め、「明日も、またやりたい！」と、遊びを楽しみにし、心を動かす体験に繋がるように、遊びの場を残しておいた。このことにより、多くの子どもたちが参加するレストランごっこに広がり、色水や泡の変化や混色をする面白さや不思議さを楽しむことができた。